

Argentina

アルヘンティーナ

No. 68



プエルト・マデロ、ブエノスアイレス (2012年11月撮影、水上前駐亜日本大使ご提供)

一般社団法人 日本アルゼンチン協会 会報

2016年7月

アラン・クラウディオ・ペロー新駐日アルゼンチン大使ご着任 とガブリエラ・ミケッテイ アルゼンチン副大統領来日 (吉村 佳人・加藤 勝巳).....	2	~2月1日(月) 駐アルゼンチン福島日本大使最新情報報告会.....	9
JMF(日本メルコスール・フォーラム)第64回例会の報告 (斉木 茂治).....	4	~3月10日(木)平成27年度第3回理事会.....	9
テニスと当協会スペイン語講座 (片岡 紀二).....	5	~3月22日(火) ラウル・G・デジャン大使送別会を主催.....	9
アルゼンチン政治経済短信 (吉村 佳人).....	6	~3月29日(火) 茨城県境町・長田小学校関係者と打合せ.....	9
Resumen en castellano (Irene Gashu).....	7	~4月26日(火) 駐日アルゼンチン新大使、アラン・ペロー新大使表敬...9	
協会の活動案内		~5月11日(水) 茨城県境町訪問、打ち合わせ.....	10
~7月8日(金)、15日(金) アルゼンチン独立(1816年7月9日) 200周年記念レセプション.....	8	~5月12日(木) ガブリエラ・ミケッテイ副大統領来日レセプション.....	10
~9月3日(土) アルゼンチン独立200周年祭 at 有栖川公園 (東京都港区).....	8	~5月24日(火) 平成28年度第1回理事会/第4回定時総会.....	10
~10月21日(金) 当協会主催第31回「タンゴ音楽の集い」.....	8	~5月24日(火)懇親会.....	10
協会の活動報告		~6月16日(木) アラン・ペロー新大使との昼食懇談会.....	11
~1月26日(火)デジャン大使を新年表敬.....	8	~6月17日(金) 第30回-「タンゴ音楽の集い」開催.....	11
~1月27日(水)茨城県境町町長並びに 長田小学校を訪問、打ち合わせ.....	9	トピックス	
		~世界を駆けるラ・クンパルシータ—— 「ラ・クンパルシータ全集(CD2枚組)」新発売.....	11

アラン・クラウディオ・ベロー (Alan Claudio Beraud) 新駐日アルゼンチン大使ご着任と ガブリエラ・ミケッティ (Gabriela Michetti) アルゼンチン副大統領来日

吉村 佳人・加藤 勝巳

アルゼンチンは、昨年12月10日マクリ政権が発足し、保護主義的経済政策で左派的ポピュリズムの前政権から脱却、自由開放経済政策を掲げて経済を立て直し、国際社会に復帰するため、次々と改革、新政策を打ち出しており、アルゼンチンは所謂「普通の国」に脱皮しようとしている。

マクリ政権は中道右派政権であり、これまでアルゼンチンには無い、極めて実務主義の政権と言われ、確かに発表している改革の実行はスピーディであり、近隣諸国、欧米諸国は、今回のアルゼンチンの変化を積極的に発言しており、期待している。

2001年のデフォルト(国家債務返済不能)以来実質凍結状態にあったホールドアウト問題(亜国の債務再編提案(債務の一部削減、再編提案))を拒否していた債権者との交渉問題は、この4月に解決し、約93億ドルの支払いを約束、この支払いのため4月19日には米国で165億ドルのドル建て国債を発行して(予定は150億ドルであったが、引き受け希望者多く、15億ドル多くの発行)、4月22日から93億ドルの支払いを開始している。

今回のアルゼンチンで起きている変化は、過去のような振り子的左右の揺れ戻しにあらず、信用できる変化とみて、各国も関心を高めて注目しているといえよう。

今春、駐アルゼンチン日本大使福嶋大使が、一時帰国された際、2月に日亜経済委員会/ラテンアメリカ協会主催、当協会共催で「任地最新事情報告会」が開催されました。

福嶋大使から、アルゼンチンの変化について詳細に密度の濃いご報告がありました。

同大使ご作成の資料タイトルが、「鎖国」から「開国」とありましたことが、印象的であった。

アルゼンチンは、ご承知の通り、本来は南米の大国であります。今年は、アルゼンチンへ日本人移住開始から130年、日亜修好通商航海条約締結(1898年)か

ら118年、また現天皇陛下皇后ご夫妻が2回訪問された国は南米ではアルゼンチンのみで、両国は長い関係があります。(南米では、今上天皇陛下はブラジル、アルゼンチンを訪問されている。アルゼンチンには、天皇陛下ご夫妻が2回訪問(一回は皇太子殿下ご夫妻で1967年に))されている。

改革を進めているだけに、新政権は課題があります。財政赤字問題、インフレ問題、雇用問題と解決すべき問題を抱えています。これからの1年、アルゼンチンの変化に関心を持って注目していきたいと思います。

このように新しく変化する時に、駐日アルゼンチン新大使として、アラン・ベロー大使が4月13日来日、着任されました。

5月10日に本国からガブリエラ・ミケッティ副大統領が来日予定されている前の着任であります。

ベロー大使の略歴は次の通りです。

Alan Claudio Beraud

58歳

ご夫人(外交官として本国で活躍中)、

子供3人

1980年; ブエノスアイレス国立大学法学部卒

1984年; アルゼンチン外交官研修所を金賞で卒業
弁護士資格保有者ですが、立派なキャリアー外交官で、国際法、条約関係のエキスパート。

在外経験は、ウルグアイ(領事1987~'91)、

およびEU本部(ブラッセル本部で次席、2006~'11)
大使としては日本が初めてのようですが、これからは期待される外交官。

ミケッティ副大統領来日時は、滞在3日間終始副大統領に同道して、安倍首相、麻生副首相、林大臣(経産省)他重要関係先と面談して、短期間であったが極めて有意義な、成果のある訪日であったと、後日同大使は述べられている。

ペロー大使語学は、スペイン語（母国語）に加えて、英語、フランス語、ポルトガル語；

ご趣味は読書、テニス、サッカー・フットボールの由。



ペロー新大使と永井理事長—新大使歓迎昼食懇談会にて

ガブリエラ・ミケッテイ アルゼンチン共和国副大統領が5月11日～13日までの日程で訪日された。

ミケッテイ副大統領は；

5月11日；安倍総理大臣表敬、JBIC(国際協力銀行)・JETRO他関係者と会談、日本・アルゼンチン友好議連との昼食会

12日；黄川田外務大臣政務官表敬、山崎参議院議長と会談、「日本アルゼンチン官民経済フォーラム」に参加、林経済産業大臣との会談及び覚書交換

夕刻はアルゼンチン側主催レセプション
(ア大使館、武藤外務副大臣挨拶)

13日；麻生副総理と会談、JICA関係者と会談、メディア各社によるインタビュー

と、精力的にスケジュールを消化された。

安倍総理大臣から、ミケッテイ副大統領を初めとする一行（ミゲル・ブラウン工業生産副大臣、ペドロ・ラコステ財務・金融副大臣、ダニエル・メイランエネルギー工業副大臣、プロカチーニ投資庁総裁）の訪日を歓迎すると共に、先般ワシントンでのマクリ大統領



ミケッテイ副大統領、安倍総理大臣表敬

との会談に触れ、両国関係を更に発展させて行きたい旨述べられた。これに対し、ミケッテイ副大統領はアルゼンチン政府の変革、特に対外政策、投資環境の改善について説明されて、特に日本から質の高い技術、投資を希望された。

麻生副総理は、同副大統領との会談に於いて、アルゼンチン新政権の経済運営、国際金融市場への復帰を歓迎し、IMFとの更なる関係改善、投資環境の発展を期待する旨述べられた。

同副大統領は貧困削減、雇用創出のため、日本企業からの投資を高く期待された。

今回のミケッテイ副大統領一行の訪日は、新しいアルゼンチンの姿を日本政府および日本企業関係者が知る好機となり、アルゼンチン市場に対する日本企業の高い関心が示されたものであった。

フォーラム終了後、ミケッテイ副大統領と林経済産業大臣間で「日亜貿易投資合同委員会」の設置に関する協力文書が交換され、第1回会合を年内にアルゼンチンで開催することが確認された。

これから、官民ともに人的交流が再開することが期待されます。

(よしむら よしと・かとう かつみ：
当協会常務理事)

日本メルコスール・フォーラム (JMF) 第64回例会の報告

齊木 茂治

大来財団日本評議委員会が本年3月28日に米州開発銀行 (IDB) 会議室に於いて開催した日本メルコスール・フォーラム (JMF) 第64回例会で当協会の荒尾理事が「マクリ政権の政策とその成果」と題する講演を行った。

また、同講演に先立ち、当会永井理事長が挨拶並びに「最近の米国と中南米の関係」などについてスピーチをされた。

本会は上記委員会の評議員・事務局長である当会齊木理事が司会を務め、吉村・川上常務理事、阿部事務局長も出席した。

JMFは上記委員会が2004年より毎年隔月の継続開催中で、昼食の時間帯を利用して産官学の現役・OBによる中南米全般の主として政治・経済にかかる“時の話題”につき非公式な情報・意見交換を行っているもので、出席者は、官は外務省、経産省、IDBアジア事務所、JICA、JETRO、JBIC、JOGMEC、民は同委員会賛助会員の大企業5社、日商・東商 (中南米諸国との経済合同委員会事務局)、国際金融情報センター、ラテン・アメリカ協会並びに当会 (初回依頼常時出席) をはじめとする日本と話題の該当国との友好協会、学は上記委員会の評議員である大学名誉教授・現役教授である。

今回は会場満席の42名出席という大盛況であった。

荒尾理事の講演は同理事が主としてアルゼンチンの現地紙から収集され同協会のホームページ掲示板に掲載されている最新且つ詳細なる情報をまとめられた資料を基に約30分間に亘り行われ大好評であった。

また、永井理事長は15分間のスピーチで「米国・キューバ国交正常化と例会直前のオバマ大統領のキューバ・アルゼンチン訪問は中南米で長く続いた左派政権の時代が変わりつつあり、米国が中南米に回帰しつつある兆候と見られる」とのグローバルな見解を示され、有益であった。

講演後に、最近アルゼンチンを訪問された上記委員会評議員の堀坂上智大学名誉教授、菅原経産省通商政策局米州課中南米室長と昨年アルゼンチンの調査をされた竹下JETRO海外調査部米州課長がコメントをされ、有意義な情報・意見交換となった。

注) 大来財団日本評議委員会と日本メルコスール・フォーラム (JMF) の詳細は下記 (社) ラテン・アメリカ協会「MERCOSUR」サイトに掲載されています。

<http://latin-america.jp/mercosur>

(さいき しげじ：大来財団日本評議委員会
評議員・事務局長 当協会理事)



JMF 第64回例会



永井理事長、荒尾理事が講演
(フォト、左から齊木理事、荒尾理事、永井理事長)

テニスと当協会スペイン語講座

片岡 紀二

去年の10月、クロアチアのアドリア海に面したりゾート地・ウマグで開催された世界シニアテニス選手権大会の会場。男子75歳以上シングルス1回戦で敗れたもの同志が出場する敗者復活トーナメント2回戦で、私はAlberto Mastroberardino（アルゼンチン）と対戦、6-1、6-4のスコアで勝利。ネットを挟んで互いにしっかりと握手し、お互いの健闘を称え会いました。

試合が終わって緊張感が解けたせい、Albertoとの話し合いは自然とスペイン語になりました。Albertoは「私がなぜスペイン語を話せるのか」最初は不思議そうでしたが、私から今でもスペイン語を受講していると説明したら納得したようでした。

Albertoは私より2歳年上の77歳。イタリア系アルゼンチン人で3人目の妻Maria CarmenとBuenos Aires中心街に二人暮らし。今回の大会には、Carmenを同行してきており試合が終わった後、祖父母の故郷イタリアの旅を楽しみたいと張り切っていました。

Albertoのテニス歴を聞いて驚きました。今は年齢もかさみ出場試合がめっきり減ったために、世界ランキ

ングは171位に甘んじているものの、2012年、ベストランキングは世界9位で正真正銘の世界有数のランキングプレーヤーであったことが分かりました。因みに、私は今、72位。2013年、ベストランキングは世界48位になりましたが、彼のテニス歴には到底及びません。

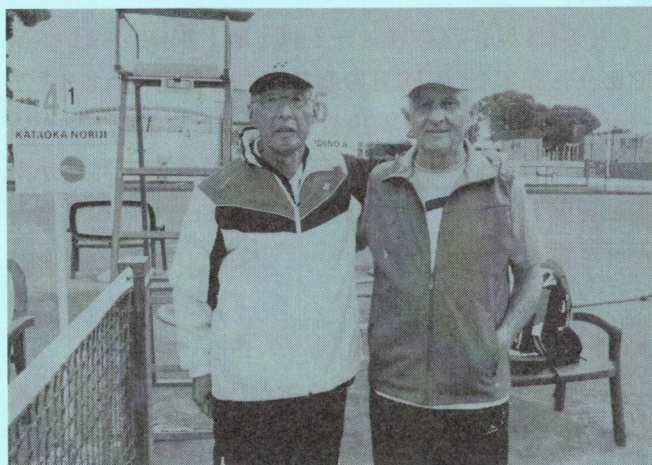
Carmenも加わって、試合後のほんの立ち話でしたが、お互いに自己紹介をすることができ、しかも、好きなテニスを話し合ったことで心が打ち解け、十数年来の友達に出会った感じでした。そして、さらにこの友情を育めるように、次回は、Buenos Airesのコートで再会を約しつつ、別れを惜しみました。

アルゼンチン協会の歴史によれば、スペイン語講習会は今から58年前の昭和33年（1958年）9月、東京駅八重洲口南側の国鉄労働会館で開講され、受講応募者は常に定員をはるかに越す盛況振りであったようです。当時は海外で、また国内でスペイン語を使って活動する人々のために、スペイン語講座は大変有益であったことが伺えます。

私は2010年、サラリーマン生活を卒業したあと、当時、新橋駅前にあった日本アルゼンチン協会のオフィスでスペイン語の受講を始めました。そして、今年で受講歴6年目を迎えます。

毎年1月と10月の約2か月間、国際テニストーナメントに出場のため、海外を飛び回ります。テニス友達の輪を広げるために、そして、旅行中の生活を豊かに楽しむためにスペイン語は大変役に立っています。これからも、引き続き、スペイン語受講を続けたいと思っています。

（かたおか のりじ：当協会会員 元三井物産）



アルベルトさんと片岡紀二氏

アルゼンチン政治経済短信

(マクリ政権下における政治経済の動向)

吉村 佳人

1. 主な新政策

昨年12月10日のマクリ政権発足後、経済立て直し、国際金融市場への復帰のために次々と新政策がとられているが、その主なもの次の通り。

① ホールドアウト法の成立と米国での国債発行

3月30日、ホールドアウト債権者に対する支払いを妨げていた「債権交換の再開を禁止する法律」および「新債権支払地変更法」の廃止並びにホールドアウト債権者に対する支払いを規定する法律が成立し、これを受けて、債権者に対する返済を開始した(4月22日にデフォルトしていた債務のうち93億ドルを返済)。これにより、アルゼンチンは国際金融界に復帰。また、4月19日には米国で165億ドルの国債を発行した。当初150億ドルの国債を発行する予定であったが、引き受け希望者が多かったため15億ドル多く発行した。

② 外貨購入制限の廃止

昨年12月16日、外貨購入制限を廃止し、為替取引を自由化した。これにより2重レートは実質的に解消され、ペソが大幅(自由化時点で約41%)に切り下げられた。

③ 輸出課徴金の撤廃、引下げと輸入規制の廃止

昨年12月17日、トウモロコシ、小麦、牛肉、水産品等の農産品の輸出に係る課徴金を撤廃するとともに、大豆に係る課徴金を35%から30%に引き下げた。29日には穀物輸出許可制も廃止された、また、21日から工業製品に係る輸出課徴金も撤廃した。さらに、2月には鉱物に対する輸出税も撤廃した。

他方輸入に関しては、昨年12月23日、輸入規制(DJAI)が廃止され、約88%に対して自動的に輸入許可が下りることとなった。

④ 自動車等に対する奢侈税の廃止

1月から自動車、二輪車及び船舶に対する奢侈税を廃止した。

⑤ 公務員の解雇

前政権時に任命された約7800名(国家公務員連盟の主張する人数)の公務員が解雇された。(3万人以上が解雇されたとの報道あり、ただし、大多数はほとんど業務につかず、給与を受け取るだけの公務員)

⑥ 公共料金の大幅アップ

4月から公共料金に係る低価格を維持するための補助金を削減し、公共交通機関、ガス、水道等の公共料金を大幅に引き上げた。

その主なもの以下の通り。

- 1) バス 3ペソから6ペソ
- 2) 鉄道(地下鉄を含む) 50~100%アップ
- 3) ガス 平均285%アップ
- 4) 水道 375%アップ

2. 経済の動向

① 統計緊急事態宣言

1月8日、INDEC(国家統計局)「統計緊急事態宣言」の政令が公布され、以降、経済活動、物価、給与等に関する統計は発表されていない。

② 物価の動向

ブエノスアイレス市が発表した3月の消費者物価は前年同月比30.5%増、また、民間コンサル8社の推計した首都圏のインフレ率の平均は前年同月比41.7%となっており、インフレがかなり進行している。

③ 為替

6月10日現在の為替レートは1米ドル=13.82ペソであり、昨年12月18日の為替取引の自由化時に13.26ペソをつけて以降、2月29日に15.84ペソまで安くなったが、その後はペソ高傾向にある。(物価上昇率が米国に比較して極めて高いので、実質かなりのペソ高となっている)

3. 外交

3月23、24日オバマ米大統領が訪亜し、マクリ大統領と会談、今後の二国間関係の緊密化で一致した。また、2月15、16日にはイタリア・レンツィ首相、同24、25日にはフランス・オランド大統領が訪亜し、両国関係の緊密化について合意している。

他方、マクリ大統領はダボス会議、核セキュリティ・サミット等の国際会議にも積極的に参加し、安倍首相と会談した他、キャメロン・英首相、習近平中国国家主席等と会談している。

4. 対日関係

① 安倍首相との首脳会談

4月1日、核セキュリティ・サミットの間を利用して、マクリ大統領と安倍首相が会談し、両国間でのハイレベルの対話や往来の促進、高級事務レベルによる政策協議の再開、両国政府主導による投資・貿易の発展やビジネス環境の改善の取組を推進するための枠組みの立ち上げ等について合意した。

② ミケティ副大統領の訪日

5月11～13日、ミケティ副大統領が訪日し、安倍首相、麻生副総理兼財務大臣、林経済産業大臣他と会談し、両国関係の一層の緊密化等が図られた。また、日亜官民経済フォーラムが開催され、アルゼンチン政府代表から投資環境等についての説明がなされるとともに、経済産業省、JETRO、JOGMEC等の政府機関や民間企業の代表からアルゼンチンに対する期待等の発表があった。

③ ビジネス環境整備委員会及び日亜貿易投資促進官民合同委員会に関する文書の署名

5月5日、ビジネス環境整備委員会の設立に関する覚書がカブレラ工業生産大臣と福島大使との間で署名された。また、5月12日、ミケティ副大統領の訪日時に経済産業省主導の日亜貿易投資促進官民合同委員会に関する文書がカブレラ工業生産大臣と林経済産業大臣により署名された。第一回委員会は本年秋にブエノスアイレスで開催される予定である。

④ 3月4日、トヨタの工場の拡張セレモニーに

マクリ大統領が出席

スピーチでは、安倍首相が11月開催のAPEC首脳会合出席のためペルー来訪の際にアルゼンチンに招待したい旨述べた。

⑤ 4月14日、マクリ大統領及びカブレラ工業生産大臣がブリジストン・アルゼンチン社の創業100周年式典に出席

(よしむら よしと：当協会常務理事)

Resumen en castellano

por Irene Gashu

Nuevo Embajador y Visita de la Vicepresidenta (p. 2)

Por Yoshito Yoshimura y Katsumi Kato

El gobierno del Presidente Mauricio Macri abandonó el proteccionismo por una política económica más libre y abierta. En abril, llegó a Tokio el nuevo Embajador Alan Claudio Beraud, abogado, diplomático de carrera, experto en derecho internacional. En mayo, visitó Japón la Vicepresidenta Gabriela Michetti que desarrolló una agitada agenda de tres días. Para el gobierno y los empresarios japoneses, esta visita fue una gran oportunidad para conocer la nueva imagen de Argentina.

Reunión del Foro Japón-Mercosur (p. 4)

Por Shigeji Saiki

El 28 de marzo de 2016 se realizó en Tokio, la 64ta reunión del Foro Japón-Mercosur, organizada por el Comité Asesor Japonés de la Fundación Okita. El Sr. Yasuichi Arao dio una conferencia sobre “La política del gobierno de Macri y sus logros”, en base a la información recabada por él mismo de los periódicos argentinos y publicada en la página web de nuestra Asociación. La

conferencia fue precedida por un discurso del Embajador Shinya Nagai que habló sobre las “Relaciones actuales entre Estados Unidos y Latinoamérica”.

Tenis y clases de castellano (p. 5)

Por Noriji Kataoka

El año pasado, en un torneo de tenis veteranos en Croacia, le gané al argentino Alberto Mastroberardino (77), dos años mayor que yo. Después del partido, me puse a conversar con él en castellano y nos hicimos amigos. Me contó que en 2012, había llegado a ser el nº 9 en el ranking mundial de tenis veteranos. Yo apenas alcancé a ser el nº 48 en 2013. Ya llevo 6 años estudiando el idioma en la Asociación y seguiré tomando los cursos.

Política y economía de Argentina (p. 6)

Por Yoshito Yoshimura

1) Nuevas medidas políticas y económicas: aprobación de la ley de normalización de la deuda pública, eliminación del control cambiario, eliminación de impuestos a la exportación industrial, despido de empleados públicos, fuerte aumento de las tarifas de los servicios públicos 2)

Situación económica: aumento de la inflación, el dólar está a 13,82 pesos 3) Política exterior: visita a Argentina del Presidente estadounidense Barack Obama, el Primer Ministro italiano Matteo Renzi y el Presidente francés Francois Hollande 4) Relaciones entre Argentina y Japón:

reunión del Presidente Macri con el Primer Ministro Shinzo Abe, visita a Japón de la Vicepresidenta Gabriela Michetti, firma de un memorando entre el Ministro Francisco Cabrera y el Embajador Noriteru Fukushima.



協会の活動案内

～7月8日(金)、15日(金) アルゼンチン独立(1816年7月9日) 200周年記念レセプション

在日アルゼンチン大使館は、独立200周年を祝って、記念レセプションを催す予定。7月8日(金)は在日アルゼンチン関係者を同大使館に招待して、7月15日(金)は日本の主要関係先をホテル・オークラに招待してレセプションが開催される。当協会役員が招待されて出席する。

～9月3日(土) アルゼンチン独立200周年祭 at 有栖川公園(東京都港区)

在日アルゼンチン大使館主催で計画中の200周年祭に当協会が後援する。

計画概要は次の通りです。詳細が決まり次第ご案内します。

日時: 9月3日(土) 11:00～17:00

場所: 有栖川公園、港区西麻布5-7-29

(最寄駅: 東京メトロ日比谷線「広尾駅」)

主催: 在日アルゼンチン大使館独立200周年祝賀実行委員会

後援: 日本アルゼンチン協会

実施要領:

11:00 タンゴ演奏に乗りフィエスタ開始

11:15 駐日アルゼンチン大使挨拶

11:45 タンゴダンス・ショー

12:15～出店ブース(テント)での、飲食サービス開始。

現在8店位出店予定あり、アルゼンチン・ワイン、料理が特別サービス値段で提供予定。

17:00 フィエスタ終了

～10月21日(金) 当協会主催第31回 「タンゴ音楽の集い」

毎回大好評の飯塚久夫氏(当協会理事、日本タンゴアカデミー会長)による「タンゴ音楽の集い」の第31回目で、今年のテーマ「隠れたタンゴの名演・名唱を映像と音で発掘する」の第3回目です。

会場: 銀座プロッサム中央会館(予定)

東京都中央区銀座2-15-6 電話: 03-3542-8585

(東京メトロ有楽町線「新富町駅」1番出口 徒歩1分)



協会の活動報告

～1月26日(火) デジャン大使を新年表敬

1) 永井理事長および加藤常務理事がデジャン大使を表敬、新年の挨拶方々意見交換を行った。毎年5月に大使ご厚意により大使公邸で行う当協会の定時総会並びに懇親会については、デジャン大使帰国、新大使来日時期並びにアルゼンチン副大統領の今春来日予定等のスケジュールを勘案して、大使公邸

の使用可否及び日時を決めることとなった。

新大使の来日、赴任は、4月ごろとの示唆を頂いた。

2) 今年は亜国独立(1816年7月9日)200周年にあたるので、大使館の行事として、独立記念日(Nueve de Julio, 7月9日)の時期に中心行事、また9月頃に港区の有栖川公園でアルゼンチン祭を催したいと考えているので、当協会の支援、協力をお願いしたいと、大使から要請あった。

～1月27日（水）茨城県境町町長並びに長田小学校を訪問、打ち合わせ。

- 1) 長田小学校生徒有志のアルゼンチン派遣計画を積極的に進めている境町関係者に挨拶のため、当協会加藤・寺本・藤田・松本の4理事が境町役場を訪問した。

境町橋本町長は、昨春町長に就任して以来、「国際交流」を町づくりテーマの一つに掲げており、町長陣頭指揮の下、今秋に長田小学校生徒（6名程度）のアルゼンチン派遣を実現したく、このためアルゼンチンに精通している当協会の側面的支援、助言を得て進めたいとの要請を受けた次第。

アルゼンチンと境町・長田小学校の友好関係は81年目に入っており、さらなる友好親善の絆を深めるため、生徒派遣実現に向けて、当協会として出来るだけの協力をして行く所存です。

- 2) 又、境町は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に、アルゼンチン選手の選手村として、立候補すべく進めている。



1月27日「橋本町長を囲み出席者全員で」

～2月1日（月）駐アルゼンチン福嶋日本大使最新情報報告会

ラテンアメリカ協会主催・当協会後援により、一時帰国中の福嶋教輝大使のアルゼンチン最新情報報告会が、東京商工会議所会議室において、開催された。

ラテンアメリカ協会佐々木会長、当協会友国会長の出席をはじめ、127名の各方面関係者が出席され、大変な盛会であった。茨城県境町から町議会議長、教育長ほか8名が出席した。

アルゼンチンは、マクリ新政権誕生で、「鎖国」から国際グローバル社会への「開国」、「普通の国」に生まれ変わろうとしている旨、大変密度の濃い大使ご報告であった。

～3月10日（木）平成27年度第3回理事会

第3回理事会は、平成28年度事業計画、平成28年度予算の審議、承認を主たる議案として、内幸町の米州開発銀行アジア事務所会議室に於いて、開催された。

～3月22日（火）ラウル・G・デジャン大使送別会を主催

当協会主催で、4月早々にご帰国されるデジャン大使夫妻並びにフェリペ・A・ガルデラ公使夫妻をお招きして、ホテル・モンレー赤坂に於いて12:00からデジャン大使夫妻の送別昼食会を開催した。

同大使は、2010年10月に来日され、6年に近い在日期間に於いて、当協会との親しい関係を構築して頂き、当協会友国会長から謝意を表明され、挨拶された。

当協会からは、友国会長、木島副会長、永井理事長夫妻、役員10名が、また中曾根悟郎元大使夫妻が出席された。

～3月29日（火）茨城県境町・長田小学校関係者と打合せ

境町橋本町長他境町、長田小学校関係者11名が上京し、16:00から新橋フォーラム会議室（当協会旧事務所の隣）に於いて、長田小学校生徒のアルゼンチン派遣計画に関して意見交換、協議した。



3月29日「境町ミッションと東京で打ち合わせ」

～4月26日（火）駐日アルゼンチン新大使、アラン・ベロー新大使表敬

4月26日（火）11:30、アルゼンチン大使館を訪問、アラン・ベロー新大使を表敬し、懇談した。当協会から友国会長、永井理事長、加藤・木村両理事が表敬、ベロー新大使、ガルデラ公使、フェデリコ・G・ウルティア公使と懇談した。

友国会長から、アルゼンチンがマクリ大統領新政権で国際社会へ復帰し、重要な時期に駐日大使として来日されて、心から歓迎すると共にご活躍をお祈りする旨述べられた。ベロー新大使から、これまで何かと親

密に交流関係にある当協会の会長・理事長他皆さんにお会いできてうれしい。今後もよろしくご支援、ご協力をお願いする旨述べられた。



向かって左から；ガルデラ公使、ベロー大使、ウルティア公使

～5月11日（水）茨城県境町訪問、打ち合わせ

同日 15:00 に茨城県境町役場に出向き、橋本町長、増田教育長、張替推進課長他関係者と長田小生徒のアルゼンチン派遣計画について、打ち合わせを実施。

派遣時期は10月中旬、現地滞在は1週を前提とするも、まずは、旅程を纏める信頼ある旅行会社を早急に決めることを、町に勧めた。

～5月12日（木）ガブリエラ・ミケッティ副大統領来日レセプション

5月11日来日されたミケッティ アルゼンチン副大統領は、安倍総理を表敬、日本・アルゼンチン友好議員連盟との昼食会、5月12日は、山崎参議院議長と会談、午後からは日亜官民経済フォーラム（経産省・日亜経済委員会・日本貿易振興機構主催）に出席、その後は林大臣（経産省）と会談されるというスケジュールを精力的にこなされた後、夕刻 19:00 からアルゼンチン大使館で、同副大統領主催レセプションが催された。各方面からの招待者が多数出席されて盛大におこなわれ、当協会から友国会長、永井理事長他役員が出席した。

～5月24日（火）平成28年度第1回理事会/第4回定時総会

平成28年度第1回理事会は在日アルゼンチン大使館小講堂において、16:00 から開催された。平成27年度事業報告並びに平成27年度収支決算報告が承認されると共に、第4回定時総会上程の4議案が原案通り承認・可決された。

引き続き、17:00 から同場所に於いて、第4回定時総会が開催された。

高安常務理事から、現在の登録正会員は法人会員14社、個人正会員80名、合わせて議決権総数は94個に対し、委任状提出者を含めて議決権を有する出席者は過半数を上回っており定足数を満たしているため、総会は適法に成立している旨報告された。

友国議長から、議事に入る前にアラン・ベローアルゼンチン大使のご好意により、当日の理事会・総会及び懇親会はアルゼンチン大使館の施設を利用して頂いていることに対し、謝意を表明されてから、議題の審議に入った。4議案が夫々の担当理事から説明があり、全ての議案が滞りなく承認・可決した。

～5月24日（火）懇親会

第4回定時総会終了後 18:00 より、恒例の協会会員懇親レセプションが、大使公邸サロンで約2時間に亘り開催された。

当協会友国会長は冒頭オープニング・スピーチで、アラン・ベロー大使に祝意と歓迎の意を表し、アルゼンチン新政権の様々な改革と方向性に対し、日本も益々関心が高まっている旨話されて、アルゼンチン・日本 両国関係の更なる発展のために、ベロー大使に於かれては、益々のご活躍を祈念申し上げると共に、同大使並びに大使館の皆様にご協会の、微力ではありますが、協力して、両国関係の更なる発展に尽力していく旨述べられた。続いて、ベロー大使がご挨拶に臨み、本年はアルゼンチン独立200周年に当たること、アルゼンチンへの日本人移民が始まってから130年、ブエノスアイレス地下鉄に東京の地下鉄車両が導入されてから100年、日亜修好通商航海条約締結から118年になることに言及された。この度のミケッティ副大統領の来日は、両国友好関係をさらに深めるものであり、副大統領ミッションの滞在は短かったが、その成果は素晴らしいものであった旨述べられて、アルゼンチンにとって重要な国の一つ、日本で任務を開始することになり意を強くされている旨述べられた。

引き続き、高瀬 寧 外務省中南米局長のご挨拶と乾杯のご発生で懇親会はスタートした。タンゴ生演奏は、今回はKaZZmaさん（ヴォーカル）率いる鈴木さん（バンドネオン）、田辺さん（ベース）という新進気鋭の若手三重奏団が演奏、伸びのある表現力豊かなKaZZmaさんの歌、アルゼンチンタンゴ曲の中にフォーク曲も入り、新鮮な雰囲気が加わり、好評を得たようです。

当協会永井理事長が中締め挨拶に当たり、ベロー大使が当協会の名誉会長をお引き受け、ご快諾をえたことが披露された。

例年同様に今回も110人を超える参加者が、アルゼンチン料理、ワイン、タンゴ生演奏、お寿司も加わり、大使公邸サロンの雰囲気の中で、時間をエンジョイされたことと思います。



会長冒頭挨拶



ベロー大使、友国会長、永井理事長、KaZZmaバンドと共に



ベロー大使に境町から地元特産品を

～6月16日(木) アラン・ベロー 新大使との昼食懇談会

アラン・クラウディオ・ベロー新大使並びにフェリペ・A・ガルデラ公使をお招きして当協会主催の昼食懇談会を、赤坂見附のホテル・モントレイ赤坂、レストラン「エスカーレ」で開催。当協会から友国会長、木島副会長、永井理事長他役員11名が参加し、新大使の来日を祝い歓談した。

友国会長から、アルゼンチンが国際市場に復帰し、様々な改革をすすめており、日本のみならず世界各国が関心を高めている中、駐日大使としてご来日されたことをお祝いし、日垂両国関係の更なる発展にご尽力されることを期待すると共に、当協会も出来る限りの協力をする所存の旨のべられた。

ベロー大使から、これまで大使館と緊密な関係で、協力して頂いている当協会の会長以下の皆さんと面識できて感謝している。両国関係のさらなる発展のためよろしく願う旨述べられた。



昼食懇談会の後全員で

～6月17日(金) 第30回- 「タンゴ音楽の集い」開催

当協会理事飯塚久夫氏によるサウンド・映像と解説トーク、今回は今年のテーマ「隠れたタンゴの名演・名唱を映像と音で発掘する」の第2回目。

これまでの開催場所(新橋)が建物改装に入ったため、今回は新たに「銀座プロッサム 中央会館 7階」(中央区役所前、東京メトロ有楽町線「新富町駅」1番出口、徒歩1分)で開催。

第1部は、タンゴの名曲5曲を、所謂一般に「定番物」と称せられる演奏と「掘出し物」の演奏を聴き比べる映像抜きの試聴会。例えば1940年代演奏のカルロス・デイ・サルリ楽団の定番物と50、60年代演奏の掘出し物とが、勿論同じ曲で比較試聴出来たことは、楽しい試みでした。

第2部は、映像による観賞で、タンゴ・ハウス、クラブなどで撮られた有名楽団の演奏で10曲。1990年後半以降の映像記録で、飯塚氏の名解説が付くからたまらない。

50名を超える皆さんに参加して頂きました。

次回の第31回目(10月21日(金))をお楽しみください。

トピックス

世界を駆けるラ・クンパルシーター—— 「ラ・クンパルシーター全集(CD2枚組)」新発売

タンゴと言えば「ラ・クンパルシーター」、同曲生誕100年を記念して、日本タンゴ・アカデミー前会長島崎長次郎氏の秘蔵コレクションを復刻大公開。

50曲が集録されており、世界的快挙です。

詳細は、同封のパンフレットをご参照ください。

購入ご希望連絡先：日本タンゴ・アカデミー連絡先
〒272-0834 千葉県市川市国分4-21-11

弓田 綾子

電話：080-1080-9179

E-Mail:aya-yumita@alpha.ocn.ne.jp

会員の皆様からの自由なご意見、情報、原稿投稿をお待ちしています

「アルヘンティーナ」に会員からの自由な「会員投稿欄」を設けて、会員交流を図って行きたいと思えます。
お住いの市町村名、年齢、お名前（ペンネームでもOK）記載してご投稿ください。お待ちしております。

投稿先：日本アルゼンチン協会 FAX: 03-6809-3682 E-mail: nippon@argentina.jp



協会ホームページの活用及び E-メール通信の件

1. ホームページ (URL: <http://www.argentina.jp>)

何らパスワードの入力は不要で、誰でも自由にホームページ内情報にアクセス出来ますので、ご活用ください。

2. E-mail アドレス

nippon@argentina.jpが、協会のE-mailアドレスです。

アルゼンチンに関わる興味ある情報やイベント案内を出来るだけタイムリーに会員の皆様にお伝えする為、E-mail アドレスを連絡頂いている会員の方にはメール通信を始めております。

このメール通信をまだ受信されていない方で、受信をご希望の方は、住所、氏名及びメール・アドレスを当協会メールアドレス宛 (nippon@argentina.jp) 発信、ご連絡下さい。次のメール通信から送信致します。

ご連絡頂きましたメール・アドレスは、当協会の情報伝達関係以外の用途には使用致しません。

ご質問その他お問い合わせある場合は、協会事務所宛お電話ください。

電話：03-6809-3681 担当：阿部

平成28年度 年会費納入のお願い

本年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日迄）の年会費のお支払いがまだ未納になっている方が一部お見受けします。早めにお支払手続きを済まして頂きますようお願い申し上げます。

個人正会員：1万円

個人賛助会員：5千円

住所変更届けのお願い

ご住所が変わりました際は、早めに新住所を協会事務所にご連絡ください。

電話：03-6809-3681

FAX: 03-6809-3682

E-mail: nippon@argentina.jp

本会報のデザイン、記事の無断転用はお断りします。

日本アルゼンチン協会会報 第68号
2016年7月15日発行

発行人 永井 慎也（当協会理事長）

編集長 加藤 勝巳（当協会常務理事）

編集発行 一般社団法人 日本アルゼンチン協会
〒108-0073

東京都港区三田 2-7-16 協和三田ビル 3階

電話：03-6809-3681

FAX：03-6809-3682

E-mail：nippon@argentina.jp

URL：http://www.argentina.jp

印刷 株式会社 アイデア・インスティテュート

編集長よりの御礼

執筆、原稿に当たっては、片岡紀二様、斉木茂治様（当協会理事）にご協力頂きました。

スペイン語のサマリー（Resumen en castellano）は、イレーネ賀集さん（当協会理事）に作成して頂きました。

この場をおかりしまして、皆様のご協力に対し、厚く御礼申し上げます。